

2018年度に入学された北大生のご父母の声（ダイジェスト版）

2018年4月に入学した新入生で生協を利用された方のご父母にアンケート調査を行ないました。お寄せいただいた声の中から抜粋してご紹介します。（理は理系学部、文は文系学部、医は医学系、外は自宅外生、自は自宅生）

① 生協からの情報提供に関する意見要望

住まい探しは空物件のみ表示され、入居可能日で検索できると探しやすいと思います。入学準備は合格発表から入学までカレンダーが最初のページにあると使いやすいと思います。他大学生協の資料は、そのようになっているところが多いです。

（理・男・自）

後期受験で合格しました。受ければ1人暮らしになるので、受験後、住まい探しのカタログを入手して合格後すぐに活動できました。残っている物件から選びましたが、電話での対応もよく満足しています。（文・男・外）

北海道に住んだことがないので、冬の生活の想像ができない。光熱費の相場や、部屋に洗濯機やお風呂がないことのリスクがわかりづらくて、諸条件を満たしていくと、高い家賃のマンションになってしまった。生活していく上での、これがないとこのように不便という具体的なリスクを知りたい。（文・男・外）

全て、いたれりつくせりで、大変助かりました。接客が生協でバイトしている大学生だったので、大学生のイメージが付きやすかったです。

（理・女・外）

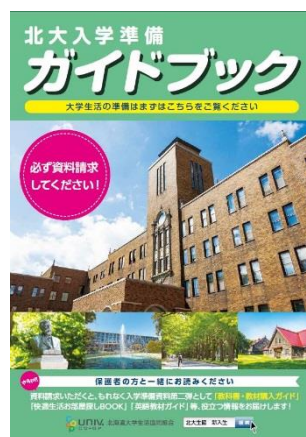
学生会館の合格前予約を利用しました。対応してくれた学生さんや職員の方々、ありがとうございました。見学会に参加しましたが、それ以外にも個人的に3件程見て回りました。見学会の参加で、できれば、1人1コースと限定しないで、複数コースに参加できたらと思いました。（理・男・外）

大学の募集要項に同封されていた受験のフライトパックは、とても役に立ちました。（理・男・外）

合格発表後には、たくさん書類が届いたので、必要な物か、不必要な物か、判断がとてみたいへんでした。優先順位などがあるとありがたいかも。

（理・女・自）

入学準備に送られてきたカタログの住まい物件の数が豊富で、とても充実していました。一人暮らしをしている先輩の部屋などの情報など、とても参考になりました。（理・男・寮）



【入学準備資料についての生協からのコメント】

- 合格された方への生協の『入学準備資料』について、本年は大学の協力をいただき、大学の入学手続き書類と同時に全員にお届けできました（一部資料は生協に資料請求いただいた方のみ送付）。入学準備の不安解消にお役に立てたようで何よりです。

② 来年受験される家庭へのアドバイス

遠隔地の大学を受験する場合は、1人暮らしのシュミレーションもして、住む家について前もって調べておく方がよいと思います。我が家は後期受験で決まったので、家を探す時間がなかったのですが、実際に見る前に決めてしまいました。

(医・女・下宿)

後期合格発表後は、住まい探しは、学生会館は希望していたところはどうもなかったので、最初からマンション中心に探すことおススメします。

(理・男・下宿)

合格すると入学手続きや1人暮らしの準備、買い物など、短期間にこなす必要があります。親は勉強の手伝いはできませんが、費用の見積りや必要な物のリストアップをしておくことをおすすめします。

(文・男・下宿)

遠方大学への受験は、普通の受験より、準備が大変でした。子供が遠方受験を考えていたら、親子でよく話し合い、親は情報収集しておくことが大事。

(子供は勉強でいっぱいなので。)特に国公立の場合は受験校が決まってからでは遅いと思う。フライトや宿など、余裕をもって予約しておく。自宅外準備も時間がなく大変です。親子で協力することが大事ですね。(医・男・下宿)

入学する学生と同じ様な環境の先輩学生との交流ができるとういことです。(住居環境、学費対応、アルバイト、学部など)(理・男・下宿)

受験は本人のやる気です。自分で決める、自分で考える、自分で調べることが大切です。自分の実力がわかるのも”自分”。親ができるのは周囲のサポート。手続きや申し込みだけでした。後はお金を出すことですね。(理・男・下宿)

後期入試の後、発表までの間にインターネット事前予約で物件を押さえたかったのですが、後期は発表後、合格が決まってからの申込しかなく、とても不安な気持ちでした。前期不合格で、後期大学の事は全く調べていなかったのですが、発表後とても忙しかったです。せめて住む場所だけでも事前予約できた

らいいなと思いました。大学まで行けば出来たのですが、遠くて行けませんでした。(理・男・下宿)

部屋のレイアウトや日当たり、設置家具のイメージなど、実際はこれらを統合して用意した方がいいので、最初からすべてそろえようと思わず、少しずつそろえながら、必要な物を考えて付け足していく方がよいと思います。(理・男・下宿)

合格後、入学までに必要な支払いが想像以上で驚きました。共済、保険の掛金、交友会費、ミールカード、電子マネーの平均的な合計額、パソコン、プリンター、電子辞書等をそろえると、どれくらいかかるかなどの資料が受験前に手に入れることができると、準備にあわてなくてすむと思います。

(理・男・下宿)

【入学準備にかかる費用についての

生協からのコメント】

- 生協では受験生と合格者に向けての案内物の中で、入学準備にかかる主な費用がどのくらいかかるか目安にさせていただけるような項目を掲載しています。この情報は、毎年全国の大学生協で実施しております『学生生活実態調査』や『新入生保護者アンケート』で集計された数値をもとに掲載しており、実態に近いデータとなっています。



③ 生協に対する意見・要望

大学生協のお部屋見学会と合格前予約で、予め住居を手配できたことで、入学前の引越し等の保護者の負担が大幅に軽減された。ミールカードについて、初めて息子を一人暮らしさせる親にとって、食事を確保できるので安心である。（理・男・下宿）

引越し前にインターネット購入しようとしたが在庫がなく困り、電話したら、北海道生協には在庫があるので大丈夫と言われ、そのまま注文しました。とても良い対応で安心しました。これからもよろしくお願いします。（理・女・寮）

本アンケートの質問が細か過ぎて面倒。また、記憶があいまいな項目が多い。（文・女・下宿）

受験時の宿泊先のホテルの案内等があるとうれしい。出願がインターネット利用の場合、受験する大学のオープンキャンパスに行かないと情報が無いので。（文・男・自宅）

大学生協の共済・保険の加入方法、記入について説明がないと非常にわかりにくかった。（理・女・下宿）

新生活用品を生協で購入したお友達が「布団が寒い」とのこと。北大生協で買ったつもりでも全国で同じ布団なら、北海道の古い学生会館には不十分なのかも。親も現地にはこられずお気の毒でした。（文・男・下宿）

ミールカードがあって安心だが、売店で購入したものもミールカードで購入できると良い。保険や商品がもう少し安価だとたすかる。何を購入したかネットで分かるのは自宅外生保護者としてはものすごく安心です。（文・男・下宿）

帰宅後にカタログを見て、追加注文しましたが、あまり時間的余裕がないのにもかかわらず、同日に配達してくれて助かりました。段ボール回収が予定よりも早くて、ちょっと大変でした。あわてました。時間的余裕が欲しかったです。（文・男・下宿）



【新入生センター学生アドバイザーについての生協からのコメント】

- 生協では、生協の加入から万が一の保障、お部屋探しや住まいづくり、教科書教材など大学生生活全般にわたって、100名以上の現役北大生がアドバイザーとして新入生をお迎えしています。先輩として商品に関わる思いや体験を率直に伝え、また学生生活への質問などにも答えています。先輩として新入生が気持ち良く新生活をスタートできるように、また不安を出来るだけ取り除けるように、親身になった対応をいつも心がけています。



【自宅生入学準備説明会についての

生協からのコメント】

- 合格された自宅生の方向けに、入学までの必要な準備や入学後の大学生活についての説明会を行いました。3月に10回開催し、約300組の方に参加いただきました。先輩学生からの説明で、大学生活のイメージを伝える事が出来たのではないかと思います。